

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ)		
ナンバリングコード	E41204	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	4	配当学年 / 開講期	4年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002729	クラス名	小久保ゼミ
担当教員名	小久保 雄介		
履修上の注意、履修条件	卒業論文の作成をメインとしますので教員とのコミュニケーションを密に取りながら授業が進んでいきます。就職した後のコミュニケーションの練習として取り組んでください。また、無断欠席は、控えて下さい。事前に欠席の旨を伝えること、言えない事情や悩みがある場合は相談して下さい(個人の情報は死守します)。卒業論文の中間発表、最終発表に参加しない場合は不可とする。		
教科書	特になし。		
参考文献及び指定図書	論文のテーマに合わせて適宜紹介をしていきます。 岡本尚也『課題研究メソッド よりよい探究活動のために2nd edition』啓林館		
関連科目	商品開発学、企業戦略基礎、マーケティング論、ビジネスソリューション基礎・応用		

○基本情報	
授業の目的	4年ゼミでは今まで学習した内容を用いて卒業論文の作成を行います。自分のリサーチ・クエスチョンを明らかにするために商品企画の手法やマーケティング・リサーチ、統計学などを駆使していきます。教員やゼミのメンバーからのコメントなどをもとにブラッシュアップをしながら大学生活の集大成である卒業論文を作成します。
授業の概要	授業ではゼミのメンバーをいくつかに分けてグループごとに進捗を発表してもらいます。そこで教員、ゼミのメンバーからのコメントをもらいながら卒論を作成していきます。また、必要な場合はゼミナールの中でアンケートの回答者を募集したり、分析方法の復習、論文作成の作法などを再度講義していきます。卒論の締め切り後は最終発表会に向けてのプレゼンテーションの作成を行います。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ゼミでの発言、興味関心の強さ、問題解決へ真摯に取り組むことができる		20点	
【知識・理解】	自分で選んだテーマに関する深い知識の習得ができる		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	人に分かりやすく、見やすく、説明することができる			30点
【思考・判断・創造】	資料や証拠を元に自身の考えを持ち、課題解決を行うことができる			30点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
受講態度、ゼミでの発言、レポート、プレゼン資料内容、発表態度を評価します。卒論の進捗状況のプレゼンについてはその場で、その他課題については返却時にフィードバックを行います。

○その他
中間発表会・最終発表会は必ず参加し、発表を行うこと。 11月までに卒業論文(8000字以上)を提出すること。また、最終発表会ではプレゼン資料を提出すること。

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) 小久保 雄介	授業コード	E002729
<b>学修内容</b>				
<b>1. オリエンテーション</b> 1年間の流れについて説明を行い、各自の卒論の執筆スケジュールを作成する。				
予習	シラバスの確認を行う。			約2時間
復習	卒論の執筆スケジュールを作成する。			約2時間
<b>2. 卒論進捗発表 グループ①</b> テーマ発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います・				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>3. 卒論進捗発表 グループ②</b> テーマ発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います・				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>4. 卒論進捗発表 グループ③</b> テーマ発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います・				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>5. 卒論進捗発表 グループ④</b> テーマ発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います・				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>6. 卒論進捗発表 グループ⑤</b> テーマ発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います・				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>7. 卒論進捗発表 調整回</b> 進捗発表ができていない学生はこの回で行う。発表学生がいない場合は過去に学習したことで再度解説が必要な箇所を説明する。				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>8. 卒論進捗発表 グループ①</b> 1回目の発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います・				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) 小久保 雄介	授業コード	E002729
<b>学修内容</b>				
<b>9. 卒論進捗発表 グループ②</b> 1回目の発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います・				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>10. 卒論進捗発表 グループ③</b> 1回目の発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います・				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>11. 卒論進捗発表 グループ④</b> 1回目の発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います・				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>12. 卒論進捗発表 グループ⑤</b> 1回目の発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います・				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>13. 卒論進捗発表 調整回</b> 進捗発表ができていない学生はこの回で行う。発表学生がいない場合は過去に学習したことで再度解説が必要な箇所を説明する。				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>14. 中間発表会①</b> これまで調べてきたことを卒業論文発表会の形式にそって発表してもらう。発表時間は、1人7分、質疑応答5分。発表者は、7名。				
予習	発表資料を用意し、プレゼンテーションの準備を行う			約2時間
復習	質疑応答で貰ったコメントを元に卒業論文をどのように修正、改善していくかについてまとめる			約2時間
<b>15. 中間発表会②</b> これまで調べてきたことを卒業論文発表会の形式にそって発表してもらう。発表時間は、1人7分、質疑応答5分。発表者は、7名。				
予習	発表資料を用意し、プレゼンテーションの準備を行う			約2時間
復習	質疑応答で貰ったコメントを元に卒業論文をどのように修正、改善していくかについてまとめる			約2時間
<b>16.</b>				
予習				約2時間
復習				約2時間

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) 小久保 雄介	授業コード	E002729
<b>学修内容</b>				
<b>17. オリエンテーション</b> 後期のゼミナールについての説明とスケジュールなどを確認します。また、夏休みの進行状況などを振り返り卒論提出までの計画を行います。				
予習	シラバスの確認を行う。			約2時間
復習	卒論の執筆スケジュールを作成する。			約2時間
<b>18. 卒論進捗発表 グループ①</b> 2回目の発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います。				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>19. 卒論進捗発表 グループ②</b> 2回目の発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います。				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>20. 卒論進捗発表 グループ③</b> 2回目の発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います。				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>21. 卒論進捗発表 グループ④</b> 2回目の発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います。				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>22. 卒論進捗発表 グループ⑤</b> 2回目の発表～現在までの卒論の進捗状況について一人20分程度で発表してもらいます。教員・ゼミナールのメンバーからフィードバックを受け次回の発表まで各自作業を行います。				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>23. 卒論進捗発表 調整回</b> 進捗発表ができていない学生はこの回で行う。発表学生がいない場合は過去に学習したことで再度解説が必要な箇所を説明する。				
予習	発表者は資料を作成する。発表者以外は自分の卒論についての調査を進める。			約2時間
復習	発表者はフィードバックを受け、修正を行う。発表者以外はゼミの発表を受け、学んだこと活かしたいことなど			約2時間
<b>24. 卒論の修正 その1</b> 作成した卒業論文に問題が無いか自分自身でチェックを行っていきます。その際に再度論文のルールや体裁などを解説します。				
予習	自分が作成した卒業論文を印刷していく。			約2時間
復習	訂正を指摘した箇所を修正する。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) 小久保 雄介	授業コード	E002729
<b>学修内容</b>				
<b>25. 卒論の修正 その2</b> 卒業論文の提出前に作成した論文をゼミの中でピアレビューを行い読みにくいところがないか？表記や作法上の問題が無いかの確認を行います。				
予習	自分が作成した卒業論文を印刷していく。			約2時間
復習	訂正を指摘した箇所を修正する。			約2時間
<b>26. 効果的なプレゼンテーションの作成について</b> 研究内容をどのようにプレゼンするかについての復習を行います。				
予習	完成した卒業論文を印刷して準備しておく。			約2時間
復習	自分の卒業論文のプレゼンテーションをどのようにするか考えておく。			約2時間
<b>27. プレゼンテーションの作成① シナリオ作り</b> プレゼンテーションのシナリオを作成します。				
予習	プレゼンテーションの構成を作成する。			約2時間
復習	教員のフィードバックを受けてスライドのラフスケッチを作成する。			約2時間
<b>28. プレゼンテーションの作成② スライド作成</b> スライドのラフスケッチをもとにスライドを作成していきます。その際にリクエストがあれば必要な情報を講義します。				
予習	パワーポイントのアウトラインを作成する。			約2時間
復習	スライドを完成させる。			約2時間
<b>29. プレゼンテーションの作成③ プレゼン練習</b> 完成したスライドとシナリオを元にプレゼンテーションの練習を行います。				
予習	プレゼンテーションの読み原稿を作成する。			約2時間
復習	何度も練習を行いプレゼンテーションの精度を上げる。			約2時間
<b>30. プレゼンテーションの作成 調整回</b> プレゼンテーションが完成しない、その他問題がある場合はこの回で完成をさせます。もうすでに完成している人はプレゼンをピアレビューしながら問題ないかの確認を行います。				
予習	プレゼンテーションの練習を行う。			約2時間
復習	ピアレビューを行い修正をする。			約2時間
<b>31. 卒業論文最終発表会</b> 作成した卒業論文をプレゼンにして発表を行います。				
予習	発表資料を作成する			約2時間
復習	他のゼミ生の卒論の評価を行う。			約2時間
<b>32.</b> 定期試験はありません。  無事卒業！				
予習				
復習				